

令和2年度 第2学期 始業式 式辞

皆さん、おはようございます。

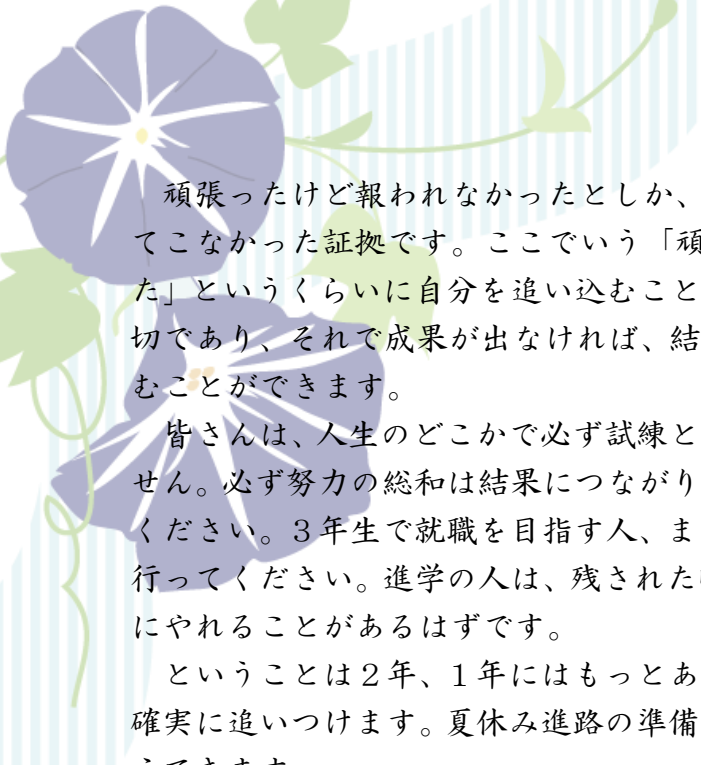
まず最初に、夏休み中に大きな事故・怪我等もなく元気に2学期を迎えることができたことに一安心しています。

今日から2学期が始まりますが、この先、当面の間、新型コロナウイルスへの対応に加え、1ヶ月ほどは高い気温にも十分な注意が必要です。感染症や気候変動の広がりを止めることは、今の科学の力だけでは難しいことは、もう明らかです。特に新型コロナウイルスの影響は大きく、オリンピックを始め日本中のあらゆる催し物が中止となりました。感染状況によっては、学校が、また、いつ休校になるのか、誰も予想できません。本校の行事でさえ、確定的なものはこの今日のこの始業式を除けば何もない。であれば、我々が感染症や暑さに対する肉体的・心理的対応力をつけることが必要であり、学校生活においてもそれらに対応する工夫をしていかねばなりません。

どんなに注意していても、感染症はどこからか忍び寄ってきます。日本はおろか世界中で起こっている感染者への差別などは全く無意味で、感染は誰にでも起こりうる可能性があるということを肝に銘じておいてください。感染した人々を差別するなどといった知性のない行動をとることがないように、また、公共の場ではマスクをするとか、大きな声でしゃべらないとか常識と品格のある行動をしてください。

1学期の終業式で今後訪れるであろう国内の不安定な状況を皆さん伝えました。今日は、それに加えて、日本を取り巻くあらゆる環境が、不安定性を増していることを伝えておきます。貿易も歴史観も国境を巡る問題も緊張感をもって、今現在、日本政府が関係各国と対応しています。皆さんには、今、高校生に必要な学力と体力の向上と併せて、日本を取り巻く環境を俯瞰して見渡す力を身につけて頂きたいと思います。次代を担うあなた方が、歴史の検証をせずして、時の世界の動きをしらずして、この国で平和に生活し続けることは、あまりに無防備で、難しいこととなっていくでしょう。国内だけではなく、この国をとりまく状況にも目を向けて、自分の未来作りに努力していただきたいと思います。

皆さんの人生を成功に導く、学校生活の鍵は「頑張り続ける」こと、これに尽きます。運良く素晴らしい企業に就職できても、いい大学に入れても、たわいないことに我慢ができず、辞めてしまえばそれまでの努力は水の泡です。逆に希望した大学や企業に不合格になっても、くさらず将来の成功を簡単にあきらめず、夢を持って粘り強く努力を続けたことで、素晴らしい人生を勝ち取った人はたくさんいます。むしろ、こちらの人の方が多いと思います。



頑張ったけど報われなかったとか、自分自身の努力を評価できない人は、真剣に頑張っ
てこなかった証拠です。ここでいう「頑張る」というレベルは、「あれ以上、頑張れなかつ
た」というくらいに自分を追い込むことです。勉強でも部活動でも、そういうプロセスが大
切であり、それで成果が出なければ、結果に納得し、不平・不満はわかず、次に向かって進
むことができます。

皆さんは、人生のどこかで必ず試練として出会うことになります。おそれることはありません。
必ず努力の総和は結果につながります。夏休みに頑張れなかった人、今から頑張っ
てください。3年生で就職を目指す人、まだ十分間に合います。今からできることを最大限に
行ってください。進学の人、残された時間はまだ十分あると言っていい、就職希望者以上
にやれることがあるはずです。

ということは2年、1年にはもっとあります。やりようによってはすでにやっている人に
確実に追いつけます。夏休み進路の準備や勉強で頑張った人、この2学期必ずその成果が見
えてきます。

また、部活動の練習や試合、そして部活動を引退した3年生や卒業生が下級生を指導する
姿を見て大変頼もしく見えました。特に部活動を頑張ってきた3年生の皆さん。公式試合が
例年並に行えず、不完全燃焼だった人もいると思います。ただ、部活動を続けた価値は試合
結果よりも大きく、いつの日か続けた経験が自分自身を助けることになります。一つ上の高
みを目指して培ったものを今後の人生に生かしてください。

どうすれば学習面での実力が付くのか、どうすれば目標とする進路を実現することが出来
るのか、どういう練習をすれば、あるいはどういう試合運びをすれば他校に勝てるのか、ま
た、体育祭で優勝するにはブロックをどう動かせばよいのか、答えは一つです。

この放送を聞いている一人一人が、より良い結果を目指して、深く思考し、近道をせず一
歩ずつ努力を重ねることです。人生には、努力せずして起死回生の手段が浮かんだり、逆転
満塁ホームランを打てることはありません。

ここにいる皆さんには、めんどうがらず、まっすぐに、小さな努力を重ねていってください。

以上、令和2年度2学期始業式の式辞とします。

令和2年8月21日

福岡県立若松高等学校長 小山 繁

